

報告事項ク

令和3年度江原道教育庁との生徒交流について

令和3年度江原道教育庁との生徒交流について、別紙のとおり報告します。

令和3年11月24日

鳥取県教育委員会教育長 / 足羽英樹

令和3年度江原道教育庁との生徒交流について

令和3年11月24日
高等学校課
教育総務課

江原道教育庁との児童生徒交流について、新型コロナウイルス感染症の影響により訪日・訪韓による交流が実施できないため、令和2年度に引き続き、令和3年度も以下のとおりオンラインでの交流を実施した。

- 日時** 1回目ー令和3年10月27日(水)午後4時～午後6時
2回目ー令和3年11月10日(水)午後4時～午後6時
- 場所** 鳥取県立倉吉西高等学校 リベラ・タベルナ(多目的ルーム)
※江原道側はそれぞれの高校から参加
- 参加者** 計40名
鳥取県側 20名 倉吉西高等学校1～3年生 男子3名、女子17名
江原道側 20名 江陵第一(カンヌンチェイル)高 男子13名
三一(サミル)高 男子1名 女子1名
石正(ソクジョン)女子高 女子3名
聖修(ソンス)高 男子2名 計男子16名、女子4名
- 方法** Zoomによるオンライン交流
倉吉西高校の生徒2名、江原道の生徒2名、計4名のグループを10グループ作り、全体での活動と、グループごとの活動とに分けて交流を行う。倉吉西高校の生徒は、一人一台Chromebookを使用する。江原道側の参加生徒が日本語を学んでいる生徒であり、江原道側から主に日本語での交流をとの要望があったことから、使用言語については基本的に日本語となり、時折英語や韓国語を交えながら交流を行う。
- 内容** ○1回目 ・開会式(教育長・教育監挨拶(動画)等)
・両地域及び参加学校紹介
・グループ活動(自己紹介、学校紹介、SDGsのテーマ決め等)
○2回目 ・グループ討論・発表(SDGs)
・各校出し物披露等
・閉会式(江原国際教育院挨拶、鳥取県教育委員会挨拶、代表生徒挨拶)

6 参加生徒の感想・交流の様子

倉吉西高校の生徒たちは、始まる前は緊張した面持ちだったが、小グループに分かれて対話を始めると、相手の日本語のレベルに刺激され、英語や韓国語を交えながら自分の思いを積極的に伝えようとしていた。自分の思いが江原道の生徒に通じる喜びから表情も和み、積極的に交流を深めることができた。

【生徒の感想から】

- ・韓国の生徒は日本語が上手で、自分も会話を韓国語でできるようにがんばりたいと思った。
- ・勉強中の韓国語をネイティブスピーカーの方と話せて良かったし、韓国の学校の先生に韓国語が上手だと褒めていただいてもっと韓国語の勉強を頑張ろうと思った。
- ・日本と韓国の地球温暖化の状況はほぼ同じであることがわかり、お互いにエアコンの使い方など生活の中で注意していこうと約束しました。
- ・同グループの韓国の生徒の学校では、ゴミの分別収集の練習を学校でやっていると聞いて、良い取組だと思った。

〈写真〉 SDGsについての討論

小グループでの交流(倉西生徒)

代表生徒の発表(江原道生徒)

